

企業のメンタルヘルス

ウェルビーイングを目指した
働き方の多様化とその対応

令和8年 **10月20日** (火)

ゲートシティ大崎 ゲートシティホール(ウェストタワーB1F)

公益財団法人 精神分析武田こころの健康財団

実施要領

日時：令和8年10月20日(火) 13:20～ 受付
14:00～16:50 シンポジウム

会場：ゲートシティ大崎 ゲートシティホール(ウェストタワー B1F)

会費：参加費 無料

※シンポジウム終了後、近くの別会場で情報交換会(参加費 2,000 円)を行います。

軽食や飲み物もご用意しておりますので、是非ご参加ください(要事前申し込み)。

申込方法：会場参加の方は申込ハガキまたは当財団ホームページからの申込みが可能です。オンライン参加ご希望の方は当財団ホームページ (<https://www.takeda-kokorozaidan.jp>) からお申込み下さい。

申込期限：令和8年10月10日(土)

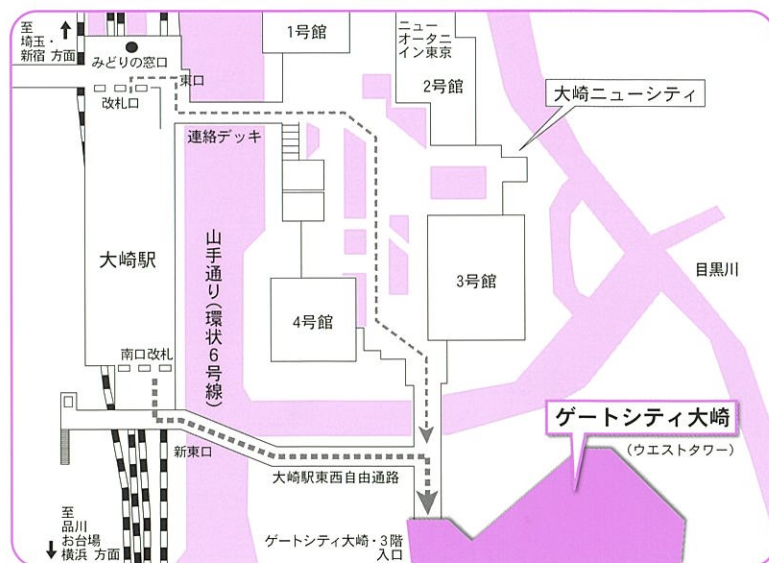


財団HPはこちら

会場のご案内

ゲートシティ大崎
ゲートシティホール
(ウェストタワーB1F)

〒141-0032
東京都品川区大崎1-11-1
大崎駅南改札口から徒歩1分



第15回 企業のメンタルヘルス ウエルビーイングを目指した働き方の多様化とその対応

ごあいさつ

公益財団法人 精神分析武田こころの健康財団 理事長 武田 龍太郎

このたび、産業メンタルヘルス分野に携わる人事・健康管理担当者の皆様、医療・保健・福祉をはじめとする関係分野の皆様を対象に、第15回産業メンタルヘルスシンポジウムを開催する運びとなりました。

本シンポジウムは、毎年、産業メンタルヘルスにおけるその時々的重要課題を取り上げ、働く人々の健康の維持・回復・増進を図るとともに、企業の持続的な発展に寄与することを目的として開催してまいりました。

本年は、「生産年齢人口の減少、メンタルヘルス不調者の増加、障害者雇用の拡大などを背景として進む働き方の多様化とその対応」について取り上げます。

関連する制度改正として、本年4月からは労働施策総合推進法に基づき、「職場における治療と仕事の両立支援」の対象が精神疾患を含むすべての疾病へと拡大され、事業主による取組が努力義務となりました。また、本年7月からは、多くの企業において障害者法定雇用率が2.7%へ引き上げられています。

本シンポジウムでは、このような社会的背景を踏まえ、「働く人々のウエルビーイングの実現」を共通の視点として、産業・医療・就労支援の第一線で活躍する三名の講師に、それぞれの立場から実践と課題についてご講演いただきます。

第一席では、国際企業において健康経営を推進する健康管理部門の心理職より、第二席はリカバリー志向認知療法（CT-R）の就労移行支援への応用に取り組んでいる精神科医より、第三席は医療との連携を踏まえてパーソナルリカバリーを目指した若者向け障害者就労移行支援を実践している事業所長よりご講演いただきます。

その後、パネルディスカッションを行い、ご参加の皆様との質疑応答や意見交換を行い、最後に我が国の認知行動療法の第一人者として臨床・研究・普及啓発にご尽力されている大野裕先生に総括していただく予定です。

企業・医療・就労支援の連携が深まり、一人ひとりが能力を発揮しながら働き続けられる社会の実現について、参加者の皆様とともに考える機会となれば幸いです。

尚、本シンポジウムは会場とライブ配信によるハイブリッド形式で開催し、参加費は無料です。また、終了後には情報交換会（事前申込制）を予定しております。

皆様お誘い合わせのうえ、多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

プログラム

13:20～ 受付開始

14:00～ 開会の挨拶

14:05～ シンポジウム

座 長

1) 企業の現場から

2) リカバリーを目指す復職・
就労移行支援、医療企業連携

3) 就労支援の現場から

16:10～ 会場討論

16:35～ まとめと提言

16:50～ 開会の挨拶

17:10～ 情報交換会

武 田 龍太郎

公益財団法人
精神分析武田こころの健康財団 理事長

池 田 政 俊

帝京大学大学院
文学研究科心理学専攻 主任教授
株式会社商船三井 健康管理推進センター
メンタルヘルス部門（公認心理師 臨床心理士）

割 澤 靖 子

国立精神・神経医療研究センター
認知行動療法センター長（精神科医）

久 我 弘 典

山 崎 浩 司

障害者就労移行支援事業所（若年特化型）
特定非営利活動法人 T&E 所長

大 野 裕

大野研究所 所長